

## 総合型選抜(探究プレゼンテーション方式)の手引き

### 1. 総合型選抜(探究プレゼンテーション方式)とは？

聖心女子大学の総合型選抜(探究プレゼンテーション方式)は、高校での「総合的な探究の時間」や個人的な探究活動の成果を評価する入試方式です。

この入試では、以下の点を重視します。

- 「探究」の課題は、どのような意図で設定されたのか。
- 「探究」の方法や資料の選択は適切か。
- 集められた資料の分析は適切か。
- 結論を論理的に導き出し、それを効果的に伝えているか。
- 「探究」の成果を大学での学修にどのように活かしていこうと考えるか。
- これらの点について「自分の言葉」で発信できるか

探究活動の成果について10分間のプレゼンテーションと15分間の質疑応答によって、自分の考えを自分の言葉で発信してください。

### 2. 「探究」とは何か？

この入試で求められる「探究」とは、例えば次のようなプロセスを経て行われる学びの活動です。



#### ● 探究活動に該当する例

「部活動が学業成績に与える影響について」の仮説を立て、データ等を集めて検証する。

#### ● 探究活動に該当しない例

部活動や学業で頑張ったことや努力した点を述べるだけ。

▶ プレゼンテーションのテーマが「探究」に該当するか確認しましょう。

### 3. 「探究」のプロセスについて

探究のプロセスを説明します。下記は一例であり、必ずしもこのとおりに行う必要はありません。



#### ① テーマ・課題の設定

探究プレゼンテーション方式入試のプレゼンテーションのテーマに制限はありません。探究の出発点となるテーマ・課題を設定しましょう。

- 自分が興味・関心を持てるテーマを選ぶ。
- 高校の授業で扱ったテーマを選ぶ。
- 社会課題や日常生活での身近な疑問を深掘りできるかを考える。

#### ② 情報の収集

情報の集め方を考えて、テーマに関する理解を深めましょう。

- 書籍、インターネット、論文、統計データなど多様な情報源を活用する
- アンケートやインタビュー、観察など自ら調査を行う方法もある。  
(ただし、対象者のプライバシー等に配慮する必要があります。後述の「探究活動の注意点」をご参照ください。)
- 複数の情報源を参照し、信頼性の高い情報を集めることも有効。

#### ③ 整理・分析

収集した情報を整理、分類、比較するなどして、分析しましょう。

- 資料から読みとれることを分かりやすくまとめる。
- データをグラフにまとめてみる。

#### ④ まとめ・発表

得られた結論、自分の考え、今後の課題を明確にまとめましょう。

探究プレゼンテーション方式では、パワーポイントで資料を作成して、10分間のプレゼンテーションを行います。

## 4. 探究活動の注意点

探究活動を行う上での注意点です。探究活動を行う前によく確認しましょう。

### ① 倫理上の注意点

探究活動を行う際には、人を対象としたアンケート調査や実験、フィールドワークを実施する場合があります。こうした方法を取る場合、意図せずに調査対象者のプライバシーを損なうことや負担、迷惑をかけてしまう可能性があります。通常、大学で学生が研究を行う場合は、「研究倫理」に基づき十分な指導を受けた上で実施しています。本入試でこうした活動を行う場合、高校の先生や専門家からの指導を受けるなど、十分に注意してください。

### ② 安全上の注意点

高校の教員などが同行しない状況で、慣れていない場所や危険を伴う場所へのフィールドワークに出かけることは厳に慎んでください。また、研究方法に十分な理解や習熟がないまま行う活動は、事故につながる恐れがあります。安全を最優先してください。

本学の探究プレゼンテーション入試では、調べ学習や身の回りの出来事を研究することで十分に評価されます。本格的な研究活動は、大学入学後に教員の指導のもとで行いましょう。

## 5. 探究プレゼンテーション資料作成のポイント

スライドイメージとともに資料作成のポイントを記載します。

1



総合型選抜(探究プレゼンテーション方式)  
プレゼンテーション資料作成のポイント

聖心女子大学 アドミッションズオフィス

2

【全般的な注意事項】

- ・プレゼンテーションでは、出願時に提出したパワーポイントファイルをそのまま使用します。十分に準備をして作成してください。
- ・パワーポイントファイルのデータサイズは20MBまでです。
- ・パワーポイントのノート機能を使用することはできません。
- ・動画や音声を使用することはできません。
- ・アニメーションを使用することはできません。
- ・審査で用いるパソコンはインターネットにはつながっていないので、URLのリンクを貼り付けることはできません。
- ・引用等がある場合には、引用先（出典）を明記してください。
- ・プレゼンテーションの時間が10分であることを考えて、スライドの枚数があまり多くならないように注意してください。

3

【スライドの構成①】

- ・ こうしなければならないという条件はありませんが、以下のような順番でスライドを構成すると、わかりやすいものになります。

(1) 課題、テーマを提示する

テーマ：〇〇〇について

- ・ なぜこのテーマを取り上げたのか
- ・ このテーマを探究すると、どのようなことがわかるのか

4

【スライドの構成②】

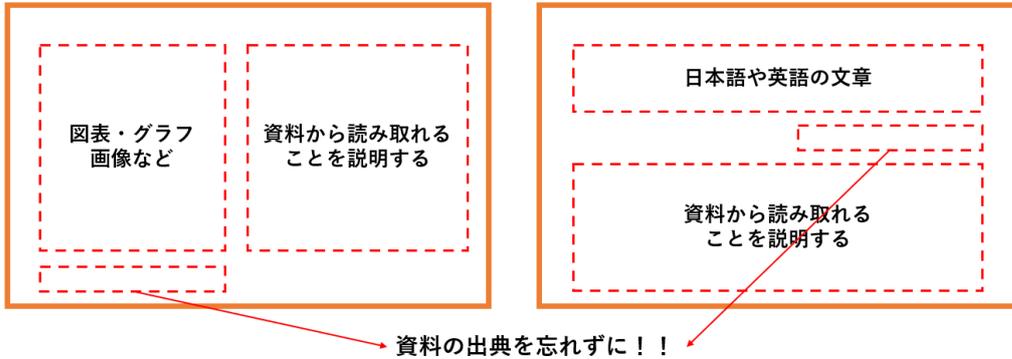
(2) 探究の方法を説明する

- ・ ①で示した課題を、どのような方法で、どのような資料を使って探究するのか
- ・ そのような方法を用いるのはなぜか(どのようなメリットがあるか)

5

【スライドの構成③】

(3) 資料を掲げて、そこからわかることを説明する

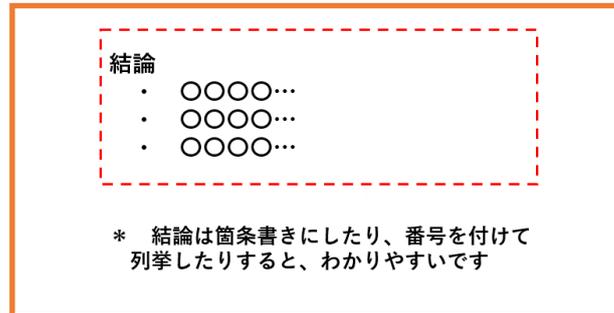


資料の出典を忘れずに!!

6

【スライドの構成④】

(4) (3)での分析結果を総合して、結論を述べる

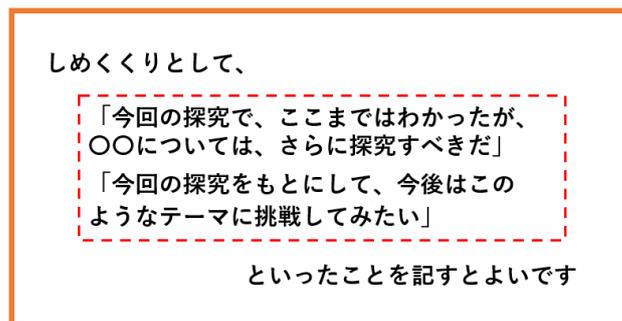


\* 結論は箇条書きにしたり、番号を付けて列挙したりすると、わかりやすいです

7

【スライドの構成⑤】

(5) 残された課題、今後探究すべき課題をあげる



といったことを記すとよいです

前ページのプレゼンテーション資料イメージについては、一例となります。

必ず上記の構成で作成をしなければならないというものではありません。

一方で、プレゼンテーション資料の作成には、ファイルサイズやファイル名、動作環境、注意点などの決まりがあります。詳しくは募集要項に記載されているので、必ず確認し、指定された条件を満たす資料を作成してください。

## 6. プレゼンテーションと質疑応答のポイント

- プレゼンテーションの時間は 10 分と決められているので、大幅に短かったり超過したりすると、減点の対象になります。
- 試験室に「台本」を持ってきたり、パワーポイントの「ノート」の機能を使うことはできませんので、事前に十分な準備をしておいてください(プレゼンテーションの前に集まる控室では「台本」などを見ることはできます)。
- 面接教員から出される質問は、みなさんが探究の内容や結論を「自分の言葉」で語っているかどうかという視点から出されます。
- 本学公式 WEB サイト「総合型選抜(探究プレゼンテーション方式)」のページで試験室のレイアウトなどプレゼンテーションの実施に関する詳細を公開します。  
当日のイメージを掴んでおきましょう。

## 7. 最後に

聖心女子大学の総合型選抜(探究プレゼンテーション方式)では、どのような方法で「探究」を行ったか、「探究」の結果をどのように自分の言葉で発信することができるかという点に重点を置きます。この方式では、本学のアドミッション・ポリシーのうち、とくに「自分の意見や価値観を持ち、自分の言葉で発信して周囲の理解を得る力を身につけたい人」を主な対象としています。このような資質を持ち、本学の学修の内容を十分に理解したうえで、入学後にその力をさらに伸ばすことができる学生の出願を期待しています。

探究活動を通じて得た学びを、自信を持って発表しましょう。